

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【公開番号】特開2014-206167(P2014-206167A)

【公開日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-060

【出願番号】特願2014-81507(P2014-81507)

【国際特許分類】

F 02 C 7/20 (2006.01)

F 02 C 7/00 (2006.01)

F 01 D 25/24 (2006.01)

【F I】

F 02 C 7/20 A

F 02 C 7/00 F

F 02 C 7/00 E

F 01 D 25/24 D

F 01 D 25/24 J

【手続補正書】

【提出日】平成29年4月5日(2017.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

航空機の翼から延出するエンジンパイロンに結合された少なくとも1つのエンジン取付け台を有するジェットエンジンの少なくとも一部を取り囲む内部カウル構造体であって、少なくとも支持ヒンジまたはカウルドアを始動させるためのレールのうちの1つを備え、前記パイロンから独立して前記エンジンに直接設置され、前記ジェットエンジンの上部を覆うように構成されたエプロンと、

前記エプロンによって囲まれない前記ジェットエンジンの部分を取り囲むように構成された内部カウル本体と、

を備え、

前記内部カウル本体が前記エプロンにヒンジ式または摺動可能の少なくともいずれかで結合されることで、結果として生じる前記結合したエプロンと内部カウル本体の組み合わせが、フープ構造を画定し、これは前記パイロンから構造的に独立し、前記ジェットエンジンの少なくとも軸方向の一部を取り囲む、

内部カウル構造体。

【請求項2】

前記エプロンが、それを介して前記エンジンとの接続が可能になる少なくとも1つの開口を備える、請求項1に記載の内部カウル構造体。

【請求項3】

前記エプロンがさらに、前記少なくとも1つの開口に対応し、前記パイロンに対して少なくとも1つの前記開口を密閉するシール構造体を備える、請求項2に記載の内部カウル構造体。

【請求項4】

前記シール構造体が、少なくとも1つの前記開口を取り囲み、前記パイロンに当接する

シールにおいて終端する鍔を備える、請求項 3 に記載の内部カウル構造体。

【請求項 5】

前記接続部が、前記エンジンと前記パイロンの間のエンジン取付け台接続部を備える、請求項 2 に記載の内部カウル構造体。

【請求項 6】

前記内部カウル本体が、前方部分と、尾翼部分とを備える、請求項 1 に記載の内部カウル構造体。

【請求項 7】

前記尾翼部分が、前記エプロンに対して前方 / 尾翼方向に摺動式に移動するように設置される、請求項 6 に記載の内部カウル構造体。

【請求項 8】

前記レールが、前記尾翼部分が摺動式に結合される摺動レールを備える、請求項 7 に記載の内部カウル構造体。

【請求項 9】

前記前方部分が一対のドアを備え、各々ドアが前記エプロンにヒンジ式に設置される、請求項 7 に記載の内部カウル構造体。

【請求項 10】

前記ドアの各々が、前記エンジンの対向する側部上に置かれる、請求項 9 に記載の内部カウル構造体。

【請求項 11】

翼と、

前記翼に設置されたエンジンパイロンと、

前記エンジンパイロンに設置され、少なくとも 1 つのエンジン取付け台接続部を備えるジェットエンジンと、

前記パイロンから独立して前記エンジンに直接設置され、前記ジェットエンジンの上部を覆い、カウルドアを始動するための支持ヒンジを備えるエプロンと、

前記エプロンによって囲まれない前記ジェットエンジンの部分を取り囲むように構成された内部カウル本体と、

を備える内部カウル構造体と、

を備え、

前記内部カウル本体が、前方部分と、尾翼部分と有し、

前記内部カウル本体の前記前方部分が、前記エプロンにヒンジ式に結合されることで、結果として生じる前記結合したエプロンと前記内部カウル本体の前記前方部分との組み合わせが、フープ構造を画定し、これは前記パイロンから構造的に独立し、前記ジェットエンジンの少なくとも第 1 の軸方向部分を完全に取り囲む、航空機組立体。

【請求項 12】

前記エプロンが、それを介して前記エンジンとの接続が可能になる少なくとも 1 つの開口を備える、請求項 11 に記載の航空機組立体。

【請求項 13】

前記エプロンがさらに、前記少なくとも 1 つの開口に対応し、前記パイロンに対して少なくとも 1 つの前記開口を密閉するシール構造体を備える、請求項 12 に記載の航空機組立体。

【請求項 14】

前記シール構造体が、少なくとも 1 つの前記開口を取り囲み、前記パイロンに隣接する、請求項 13 に記載の航空機組立体。

【請求項 15】

前記接続部が、エンジン取付け台接続部を備える、請求項 14 に記載の航空機組立体。

【請求項 16】

前記尾翼部分が、前記エプロンに対して前方 / 尾翼方向に摺動式に移動するように設置

される、請求項 1 1 に記載の航空機組立体。

【請求項 1 7】

前記エプロンがさらに、前記尾翼部分が摺動式に結合される摺動レールを備える、請求項 1 6 に記載の航空機組立体。

【請求項 1 8】

前記前方部分が一対のドアを備え、各々ドアが前記エプロンにヒンジ式に設置される、請求項 1 6 に記載の航空機組立体。

【請求項 1 9】

前記ドアの各々が、前記エンジンの対向する側部上に置かれる、請求項 1 8 に記載の航空機組立体。